

商船三井グループが洋上風力関連事業に取り組む意義

背景

- 大量の化石燃料を「運び」、燃料として「使って」きた海運業。
- 世界的な化石燃料からクリーンエネルギーへの転換の中、当社も既存事業とシナジーのある新たな事業の確立が必要。



合同会社グリーンパワー石狩「石狩湾新港洋上風力発電所」

洋上風力発電関連事業に取り組む理由

1

140年に亘り海上での仕事を生業にしてきた
当社グループの知見との親和性

2

事業ポートフォリオ改革の必要性

3

洋上サプライチェーン・周辺事業
サービスの高度化、高品質化

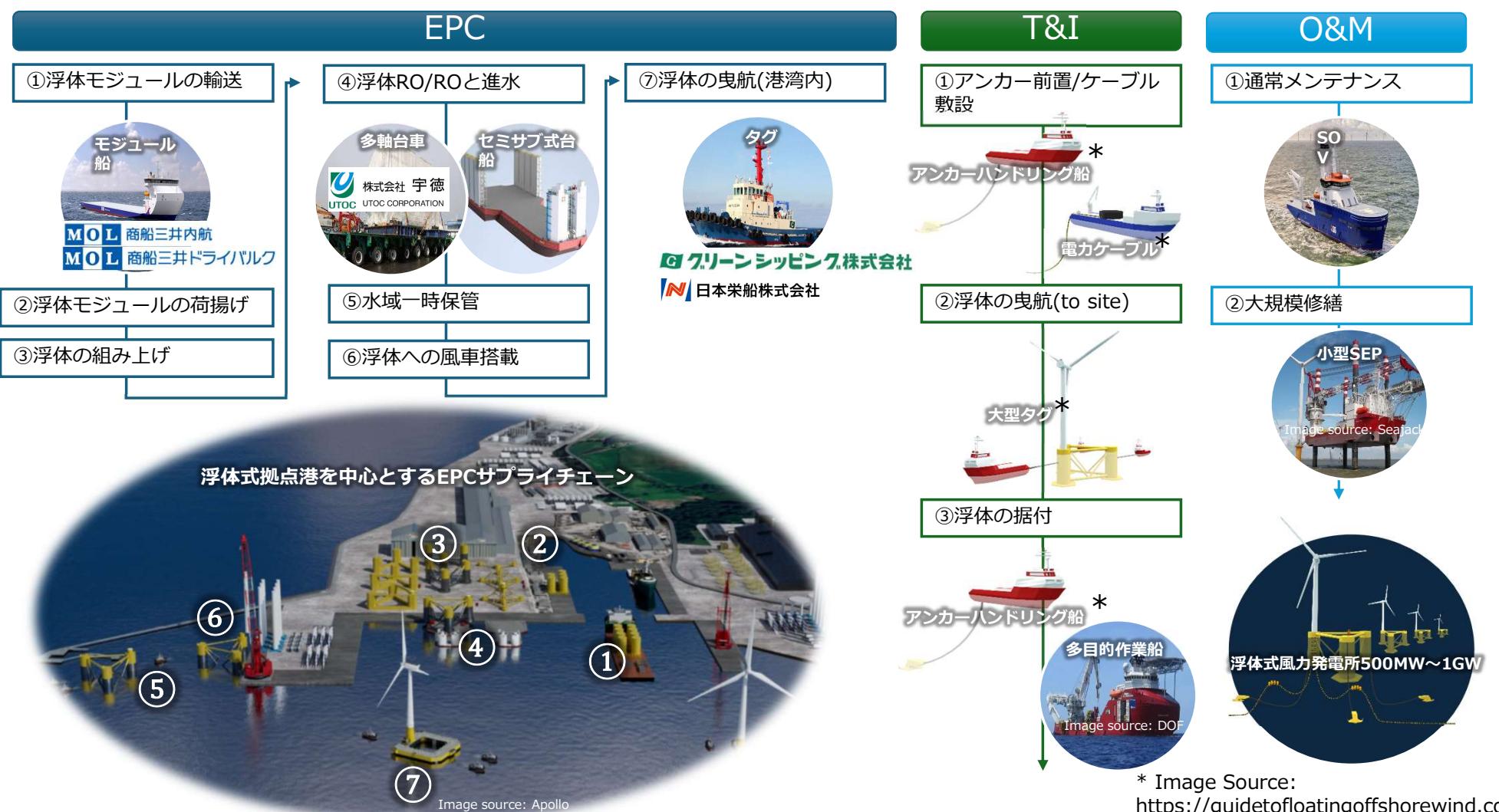
4

脱炭素・低炭素事業プレイヤーとの
ネットワーク深化による海運事業の脱炭素化

商船三井が取り組む海上風力事業 ~川上から川下まで~



グループ総力を結集し浮体のサプライチェーン全体を下支え



洋上風力関係船舶の確保に関する課題、 本検討会の皆様に共有したいこと

1. 日本人船員の足元での不足、将来的にも劇的な増加が見込まれるか不透明である
2. 輸送、作業船舶不足に関して、業界としての問題意識
3. 洋上風力に従事する船舶の建造経験、知見が十分ではない
4. 船主としての事業予見性の不足。投資に一歩を踏み出せない

